



旭川市立東栄小学校だより 11月号 令和5年11月30日

# 東栄小だより

教育目標 さとく ゆたかに たくましく  
 重点教育目標 『前向きにやり抜く』  
 子どもの合言葉 やればできる だから あきらめない

## 体力向上はこれからの課題

### 体育委員会企画で楽しく運動を！

過日、ご家庭での生活を振り返る機会を設けるため、健康生活チェックシートへの取組を実施しました。11月から帰宅時間が16時30分までとなり、暗くなる前に帰宅しなければならないためか全般的に体を動かす時間が減ってきています。また、グラウンドの遊具使用が終了したことで、ますます体力が低下することを心配しています。

そこで、体育委員会が、体育館でみんなが楽しく遊びながら体を動かす機会をつくろうと、中休みや昼休みを利用して「だるまさんがころんだ」を実施することとしました。4年生から6年生までの体育委員が運営を担当して学年ごとに日程が割り当てられました。最初は、11月13日(月)の中休みに3年生がスタートしました。走ったり、止まったり、方向を変えたり、転がったりと、息を弾ませながら笑顔で大きな声を出しながら体を動かす姿が体育館いっぱい広がっていました。



学校では、これまで体育の時間のはじまりに5分間走を取り入れていましたが、11月からは縄跳びに取り組み、名人を目指してがんばっています。放課後の時間を少年団活動ばかりではなく、スキーや雪遊びなどで進んで体を動かすようになってほしいと思っています。

## 12月の行事予定

日	曜	行事予定等	日	曜	行事予定等
4	月	図書返本週間～8日 校内絵画展～15日	19	火	冬休み図書貸出(1・2年)
5	火	委員会 外国語サポーター来校			非行防止教室(6年)
6	水	読み聞かせお楽しみ会(1・2年)	20	水	冬休み図書貸出(3・4年) クラブ
8	金	参観日(3・6年) PTA3学年レク	21	木	お弁当の日 冬休み図書貸出(5年)
11	月	参観日(2・4年) PTA4学年レク			すまいるタイム
12	火	参観日(1・5年・たいよう)	22	金	みんなの広場
14	木	英検ESG(6年)	25	月	2学期終業式
15	金	諸費納入日 PTAパトロール回収	26	火	冬季休業～1月14日
18	月	冬休み図書貸出(6年)	29	水	年末年始休業(学校閉庁日)～1月3日

学校暦の記載で、2月14日(水)に予定していました「お弁当の日」が15日(木)に変更になります。近づきましたら再度、学年だより等を通してお知らせしますが、ご予約しておいていただきたいと思ひます。

## 全国学力・学習状況調査の結果分析

4月18日(火)に第6学年を対象に実施しました全国学力・学習状況調査につきまして、本校の結果の概要をまとめましたのでお知らせいたします。



### 1 分析の概要

#### 【国語】

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「知識・技能」の「漢字を文の中で正しく使う」「文章の種類とその特徴についての理解」など、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で比較的高い正答率がありました。</li> <li>○「思考力・判断力・表現力等」の「目的に応じて文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付ける」で高い正答率がありました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲全般的に「思考力・判断力・表現力等」の正答率が低く、特に「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと」の中心を捉える」で正答率が低くなりました。</li> <li>▲「知識・技能」の「日常よく使われる敬語の理解」の定着が比較的不十分でした。</li> </ul>

#### 【算数】

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「知識・技能」の「一の位が0の二つの2位数についての乗法の計算」で高い正答率がありました。</li> <li>○「思考力・判断力・表現力等」の「伴って変わる二つの数量の関係が、比例関係でないことを説明する」で特に高い正答率がありました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲「知識・技能」の「正三角形の意味や性質についての理解」「加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする」「百分率で表された割合についての理解」「二次元の表から、条件に合う数を読み取る」で正答率が低くなりました。</li> <li>▲「思考・判断・表現」では、椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求めることが不十分でした。</li> <li>▲全国、全道の傾向と同様に「図形」領域の定着が不十分でした。様々な三角形や四角形の意味や性質について理解することが必要です。</li> </ul>

改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「書くこと」については、昨年度から向上は見られるものの全国、全道の傾向と同様に課題となっています。今後も朝学習での視写の取組を継続し、学年に応じた「文章の型」を身に付けるよう学びを発展させていきます。</li> <li>○学習の基盤となる「知識・技能」の確実な定着を図るため、朝学習でのプリントやワークを用いたドリル学習を徹底します。</li> <li>○「基礎的・基本的な計算の技能」を向上を目指し、算数の授業開始時に「マス計算」を取り入れます。</li> <li>○「図形」領域の苦手克服に向けて、廊下に体感的に学ぶことができる特設コーナーを設置し、図形の移動や空間の位置関係などをイメージする力を身に付けます。</li> </ul>
-----	---

### 2 今後に向けて

- 学びを深める授業づくり ～ICTの活用による学習内容の確実な定着～
  - 自ら創る・分かる・楽しい授業の推進するため、学びのプロセスを子どもたちに確実に定着を図り、主体的に子どもが活動する場面を設定します。また、ICTを自ら選択して効果的に活用する基本スキルの定着に努めます。
- 落ち着いた学級づくり ～学校全体で取り組む学びの環境づくり～
  - 小中連携による育成を目指す子どもの姿を基に学習ルールの継続的な指導に努めます。
  - 児童会の取組「いじめゼロ宣言」や「いいこと発見ポスト」、「あいさつ運動」等を通してすべてを受け入れ認め合う人間関係づくりに努めます。
- 望ましい生活習慣づくり ～発達段階を踏まえた、自ら学ぶ力の育成～
  - 健康・生活チェックシートや個人懇談等を活用しながらアウトメディアへの意識を高め、学習・生活習慣等の見直しについて家庭との連携に努めます。
  - 「家庭学習の手引き」を見直し、学年に応じた身に付けるべき学びの姿の明確化を図ります。また、家庭学習や読書、外遊びなどの放課後時間の有効な使い方について家庭との連携に努めます。

児童質問紙では、全国に比べて休日の学習やタブレットを用いた学習、読書等が不足していることがうかがわれます。詳細は、本校HPをご覧くださいと思います。